

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

Mapletree Investments Pte Ltd（証券コード：－）

【据置】

外貨建長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的

■格付事由

- Mapletree グループは、Mapletree Investments Pte Ltd（MIPL）を持株会社とし、シンガポールに本拠を置く大手総合不動産会社グループ。シンガポールの政府系ファンドである 테마セク・ホールディングス（테마섹）が MIPL に間接 100% 出資している。不動産開発から投資、ファンド資産運用、物件賃貸・管理まで一体で手掛けるビジネスモデルにより、高い資本効率と収益性の確保を目指している。MIPL の発行体格付は Mapletree グループのグループ信用力を反映している。開発・投資実績に裏付けされた強固な事業基盤、分散した資産ポートフォリオ、運用資産からの安定収益、銀行貸出枠に支えられた十分な流動性などの強みに加え、테마섹との繋がりなどを評価しており、グループ信用力は「AA」相当とみている。
- 保有物件からの賃料収入が連結売上上の 6 割以上を占めるほか、賃料以外の収入も配当収入やマネジメントフィーが中心で、収益構造は比較的安定している。運営する REIT や不動産ファンドを含めた運用資産（AUM）は、地域とアセットタイプの両面で分散したポートフォリオとなっている。開発案件への取り組みを強化していく方針だが、慎重かつ規律ある投資方針を堅持しており、財務体質が大きく損なわれるリスクは限定的と判断している。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/3 期の連結売上は 23 億シンガポールドル（前期比 19% 減）、営業利益は 11 億シンガポールドル（前期比 8 億シンガポールドル減）であった。傘下上場 REIT の一つである Mapletree Logistics Trust が連結対象外となった影響による減収で、概ね JCR の想定範囲内である。保有物件の評価損が縮小した結果、当期利益は 5 億シンガポールドルの黒字を回復した。26/3 期については、中国の市況回復には時間を要するとみている一方、金利環境の改善が不動産再評価損益にプラスに働くことが期待される。開発案件の利益貢献にはなお時間を要するとみられ、JCR では 26/3 期の業績は概ね前年並みで推移するとみている。
- 資産取得や開発案件に伴う借入の増加を背景に、ネット有利子負債・純資産倍率は 0.69 倍（前年 0.59 倍）に上昇した。今後は開発案件のファンドへの移管や外部投資資金の活用により負債比率の抑制を図る方針であり、進捗を見守っていく。25/3 期末の有利子負債 182 億シンガポールドル、平均借入期間 3.4 年に対し、未引出しの銀行借入枠が約 79 億シンガポールドルを確保しており、引き続き利払及びリファイナンスに係る懸念は小さいと判断している。

（担当）杉浦 輝一・堀田 正人

■格付対象

発行体：Mapletree Investments Pte Ltd

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 12 月 9 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「不動産」(2023 年 6 月 1 日)、「J-REIT」(2017 年 7 月 3 日)、「持株会社の格付方法」(2025 年 4 月 2 日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022 年 9 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) Mapletree Investments Pte Ltd
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル